

# 主をおのれの喜びとせよ。そうすれば

NTT-OB 福島 勲

主をおのれの喜びとせよ。(そうすれば)  
主はあなたの心の願いをかなえてくださる。  
(詩篇37篇4節／新改訳)

この御言葉を何度も反芻<sup>はんすう</sup>して読んでいる時、前半「主をおのれの喜びとせよ」と後半「主はあなたの心の願いをかなえてくださる」の間に接続詞が入るのではないかと思われされました。

調べてみますと、どの日本語訳（新改訳・口語訳・新共同訳・現代訳・リビングバイブル）にもありませんが、ヘブル語テキスト（BHS1944）や70人訳（ギリシャ語）にあり、英語訳（KJV、NKJV、NIV、NLT）にも「and」（そうすれば）があります。

<THE INTERLINEAR NIV HEBREW-ENGLISH(Psa 37:4/右から左へ読む)>

לִבְּךָ מִשְׁאֲלֹת לְךָ יְיָ-עַל-יְהוָה וְהִתְעַנַּגְתָּ  
heart-of-you desires-of to-you and-he-will-give Yahweh in and-delight!

<SEPTUAGINTA・70人訳(Psa 36:4/70人訳は0章から開始)>

κατατρυφήσον τοῦ κυρίου καὶ δώσει σοι τὰ αἰτήματα τῆς καρδίας σου  
and

<NIV> Delight yourself in the LORD / and he will give you the desires of your heart.

<NKJV> Delight yourself also in the Lord, And He shall give you the desires of your heart.

<NLT> Take delight in the Lord, / and he will give you your heart's desires.

この接続詞（そうすれば）があると、私にとっては大きな励ましになります。ちょっと飛躍しすぎかもしれませんが、似た表現として、マタイ福音書7章7節に「求めなさい。捜しなさい。たたきなさい。」があります。

これらの要求に対する答えは「そうすれば与えられます」「そうすれば見つかります」「そうすれば開かれます」。この接続詞「そうすれば」があることによって「求めよう、捜そう、たたこう」という意欲が多く湧いてくるように思います。

前半の「主をおのれの喜びとせよ」は、私に命じられていること、私が果たすべきこと。後半の「主はあなたの心の願いをかなえてくださる」は、主がなして下さる約束、ご褒美のようでもあります。

この世で生きていく上で、私たちには多くの願い事があります。願い事がかなえられる道は、主をおのれの喜びとすること。

「主をおのれの喜びとする」とは、私のような者のためにも主が十字架で成し遂げて下さった救いの恵みを喜ぶこと、御言葉を通して示された主の愛の御心を喜ぶこと、主に向かって歌い賛美すること。また、主を喜びとできない考え方・行動を避けること等々、沢山あります。

主を喜びとするならば肉的な願い事はなくなるでしょう。主の御心にかなった願い事に変えられていくでしょう。

何をするにも、主を喜び・楽しみとして考え行動する。そうすれば、その結果は何でしょうか。そうすれば「主はあなたの心の願いをかなえてくださる」。

なんと感謝なことでしょう。私の心の願いは、主が責任をもってかなえてくださるといなのです。自分の願いを自分で果たそうとすると、自己主張が強くなったりして、人間的なあつれきを生じてしまうことがありました。

私の心の願いは、主がかなえてくださる。主が一番良いようになしてくださる。主にお任せすればよいのだと分かったら、すごく楽になります。気負わなくてもよい。いや気負ってはいけません。

仕事において、日常生活において、何をするにも「主を喜びとする」。ここにクリスチャン生活の秘訣があると見えてきました。

この御言葉を歌にして覚えたいと思い、聖歌431番（なやめる人々）のメロディに合わせて作ってみました。

主イエスをおのれの／喜びとせよ／  
 そうすれば主イエスは／かなえてくださる／  
 あなたの願いを／かなえてくださる／  
 主イエスをおのれの／喜びとせよ／



寝ている時も、この歌が私の心の中でエンドレステープのように絶え間なく流れるようになりました。